

臨床研究情報

当院で急性胆嚢炎に対する胆嚢ドレナージ治療を受けられた患者さん・ご家族様へご協力をお願い

NTT 東日本関東病院 肝胆膵内科では、以下の臨床研究を実施しております。

この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療情報を使用してほしくないのご意思がある場合には、遠慮なく下記の問い合わせ先、もしくは倫理・医療監査委員会事務局までご連絡ください。

研究課題名

急性胆嚢炎に対する胆嚢ドレナージ後の外科的治療成績に関する後ろ向き検討

研究実施機関

NTT 東日本関東病院 肝胆膵内科

研究責任者

NTT 東日本関東病院 肝胆膵内科 藤田 祐司

研究の意義と目的

急性胆嚢炎に対する標準治療は胆嚢摘出術ですが、高齢者や併存疾患を有する患者さんでは初期治療として胆嚢ドレナージが行われることがあります。本研究では、経皮経肝胆嚢ドレナージ (PTGBD)、内視鏡的経乳頭胆嚢ドレナージ (ETGBD)、および内視鏡的超音波ガイド下胆嚢ドレナージ (EUS-GBD) 後に行われた胆嚢摘出術の治療成績を比較し、安全性および有効性を明らかにすることを目的とします。

対象となる方

2016年1月1日から2026年1月31日までに当院にて急性胆嚢炎に対して胆嚢ドレナージ (PTGBD、ETGBD、EUS-GBD) を施行され、その後胆嚢摘出術を受けられた患者さん

実施方法

診療録 (電子カルテ) より、年齢、性別、基礎疾患、胆嚢炎の重症度、施行されたドレナージ方法、手技成績、合併症、手術成績などの情報を収集し、後ろ向きに解析を行います。本研究において新たな検査や治療は行いません。

実施期間

倫理委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで

個人情報の取り扱い

本研究では、お名前やご住所などの個人を特定できる情報は削除し、匿名化したうえでデータを取り扱います。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、個人が特定されることはありません。

また、本研究に関する資料は研究終了後 5 年間適切に保管し、その後は個人が特定できない形で廃棄いたします。

費用

本研究に参加することによる新たな費用負担はありません。

利益相反

本研究に関して開示すべき利益相反はありません。

拒否を申し出る機会

ご本人または代理人の求めがあれば、本研究への参加を拒否することができます。その場合は収集した情報を破棄いたします。ただし、すでに解析が終了している場合には、データの削除ができない場合があります。

なお、研究への参加を拒否された場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院 肝胆膵内科 永井 奎毅

東京都品川区東五反田 5-9-22

電話番号 03-3448-6111 (代表)

問い合わせ可能な日時 月曜日から火曜日の 9:00-17:00